

こども自然公園 桜山の魅力アップ計画について

昭和47年の開園以来、桜の名所として親しまれているこども自然公園西側の桜山では、ソメイヨシノを中心とした桜の衰退が顕著になっています。北部公園緑地事務所ではこれまで樹木医の監修のもと、桜の衰退の原因究明や治療実験を行ってまいりました。

その結果、大半の桜が治療の見込みがあることがわかったため、「魅力ある花の名所づくり事業」として、平成30年度から桜の治療と新植を進め、公園の魅力アップを行います。平成30年度はバーベキュー場エリア、平成31年度には頂上～東側斜面で工事を行います。なお、**工事後は剪定の影響で花の数が減少し、枝が伸びて回復するまでに2年程度の期間が必要となります。**ご理解とご協力をお願いします。



現在の桜



枝先の枯れが進み、落枝の危険があります。てんぐ巣病という病気が多く、花数も少ない状態です。

改良工事（桜の樹勢回復など）



- ・ 剪定で樹高を4～8m前後に下げ、枝を更新します
- ・ 土壌改良によって枝葉の伸長を促し、花数を増やします
- ・ 回復の見込みがない桜を間引きし、過密状態を改善します
- ・ 開けた場所に、てんぐ巣病に強い桜を新たに植栽します

【今後の予定（案）】

平成30年11月～3月：バーベキュー場から山頂部分の工事

平成31年11月～3月：山頂から東側道路部分の工事